

令和2年度(2020年度)

管理事業名	介護保険サービス整備等事業			総合計画の体系	大綱 3 福祉・健康 政策 1 高齢者の暮らしを支えるまちづくり 施策 3 介護保険制度の安定的運営
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 3	民生費	(項) 1	社会福祉費 (目) 3 老人福祉費
部局名	福祉部	予算執行所属	高齢福祉室		
予算大事業名	介護保険サービス整備等事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)民生費(項)社会福祉費(目)老人福祉施設整備費積立金		
事業の目的と概要 (1)目的 質の高い介護サービスを安定的に供給できるよう、持続可能な介護保険制度の運営に努めること。 (2)概要 ・高齢者保健福祉施策や介護保険事業の目標などを定めた高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を3年ごとに策定します。 ・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の目標達成に向け、社会福祉法人等に対し整備、改修に係る費用の一部助成を行います。 ・指定管理制度(利用料金制)を導入している介護保険施設の大規模な修繕と工事を市が実施します。 ・資格取得に取り組む介護サービス事業者に対する支援や合同面接会の実施など、介護人材の確保に取組みます。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標の定義
介護資格取得支援事業の利用者数	人	20	24	35	介護資格取得支援事業補助金を活用し、介護職員初任者研修または介護福祉士実務者研修を受講した延べ人数
地域密着型サービスの整備数	箇所	4/13	7/16	9/16	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における累積整備数(整備数/目標整備数)
成果の説明	介護職員の資質向上及び定着促進を目的として平成30年度から開始した介護資格取得支援事業補助金の利用者は、事業開始以降増加傾向にあり、令和2年度には延べ35名の介護職員が本事業を活用し研修を受講しました。 地域密着型サービスの整備数については、令和2年度に2か所の選定を行い7か所から9か所に増加しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	1,609	1,620	11
国庫支出金(経常費用充当)	-	14,868	44,610	29,742
府支出金(経常費用充当)	-	41,998	41,693	△305
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	53	-	△53
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	2	2	△0
その他	-	308	695	387
経常収入 小計(a)	-	58,838	88,621	29,783
給与関係費	-	35,017	30,123	△4,894
物件費	-	18,685	96,020	77,335
維持補修費	-	7,341	4,348	△2,993
社会保障扶助費	-	330	337	7
負担金・補助金・交付金等	-	58,417	294,018	235,600
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	93,198	92,020	△1,178
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	2,997	2,564	△434
退職手当引当金繰入額	-	△81,710	△2,660	79,050
支払利息	-	7,568	3,547	△4,021
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	-	141,844	520,316	378,472
経常収支差額(a)-(b)=(c)	-	△83,006	△431,696	△348,689
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	3,132	-	△3,132
特別収入 小計(d)	-	3,132	-	△3,132
特別支出	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	3,132	-	△3,132
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	-	△79,875	△431,696	△351,821
一般財源充当額	-	159,731	386,702	226,972
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	-	79,856	△44,994	△124,850

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
国庫支出金(経常費用充当)	介護保険事業費補助金(新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所等に対するサービス継続支援事業)の皆増(41,710千円)
物件費	吹田市介護老人保健施設連絡橋撤去工事費の皆増(82,148千円)
負担金・補助金・交付金等	吹田市介護サービス事業所等新型コロナウイルス感染症対策応援金の皆増(112,200千円)、新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所等に対するサービス継続支援事業補助金の皆増(62,389千円)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	58,838	88,621	29,783
行政サービス活動支出	-	141,015	433,668	292,653
行政サービス活動収支差額	-	△82,177	△345,047	△262,870
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	2,482	4,050	1,568
投資活動収支差額	-	△2,482	△4,050	△1,568
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	75,071	37,605	△37,466
財務活動収支差額	-	△75,071	△37,605	37,466
収支差額 合計	-	△159,731	△386,702	△226,972
一般財源充当額	-	159,731	386,702	226,972
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	吹田市介護サービス事業所等新型コロナウイルス感染症対策応援金の皆増(112,200千円)
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
65歳以上高齢者1人あたりコスト	平成30年度	-	-円	令和3年3月31日現在の吹田市65歳以上人口で算出し、令和2年度は1人あたり、5,801円のコストがかかっています。
	令和元年度	89,136人	1,591円	
	令和2年度	89,694人	5,801円	
	平成30年度	-	-円	
	令和元年度	-	-円	
	令和2年度	-	-円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	40,602	38,131	△2,471
未収金	-	-	-	地方債	37,605	35,567	△2,038
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	2,997	2,564	△434
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	6,776,517	6,265,303	△511,214	固定負債	63,641	23,136	△40,505
土地	4,619,824	4,324,801	△295,024	地方債	35,567	-	△35,567
建物・工作物	2,156,692	1,940,503	△216,190	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	28,074	23,136	△4,937
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	7,200	7,200	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	104,243	61,267	△42,976
土地	-	-	-	純資産	7,038,802	6,570,520	△468,281
建物・工作物	-	-	-	重要物品	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	図書館資料	-	-	-
重要物品	25,546	25,500	△46	投資その他の資産	333,782	333,784	2
図書館資料	-	-	-	出資金	100,000	100,000	-
投資その他の資産	333,782	333,784	2	長期貸付金	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	基金	233,782	233,784	2
土地	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	その他債権	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	資産の部合計	7,143,045	6,631,788	△511,257
重要物品	25,546	25,500	△46	負債及び純資産の部合計	7,143,045	6,631,788	△511,257
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	333,782	333,784	2				
出資金	100,000	100,000	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	233,782	233,784	2				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	7,143,045	6,631,788	△511,257				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

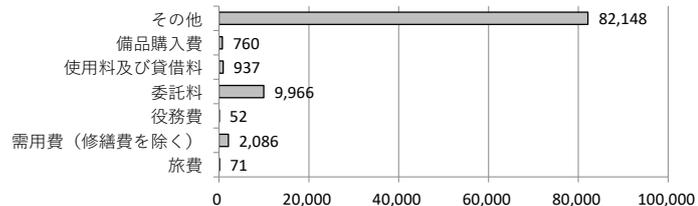
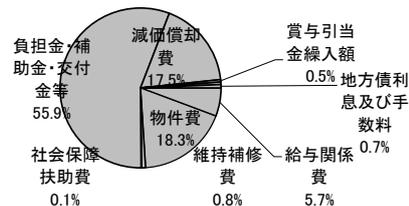
	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	
事業従事人数	3.9人	21日	107日	合計(千円) 30,027
給与関係費等	28,934千円	194千円	899千円	
内、時間外勤務手当	1,158千円			

貸借対照表の主な増減理由(特微的な事項)

勘定科目	増減理由
土地	旧南山田デイサービスセンター敷地(2,137.6㎡)の所管替えによる316,517千円の減、北千里保育園跡地高齢者施設用地(1,500.02㎡)の所管替えによる21,494千円の増。
建物	旧南山田デイサービスセンターの所管替えによる240,635千円の減

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市介護老人保健施設 ほか
取得年月日	平成4年6月
建物・工作物の取得価額	4,135,605 千円
建物・工作物の減価償却累計額	2,195,102 千円
利用料金収入	1,620 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		-	0.2	0.1	△0.1
施設老朽化比率		-	50.7	53.1	2.4
受益者負担比率		-	1.1	0.3	△0.8
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		-	73.1	81.4	8.3
経常費用対公共資産比率		-	3.2	12.6	9.4

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

今年度から事業の成果指標の見直しを行い、市内事業所で勤務する介護職員の資質の向上等を目的とした介護資格取得支援事業の受講者数を指標としています。
 ・建物の老朽化比率は53.1%となっており、市保有施設全体の老朽化比率(57.2%)を4.1ポイント下回っています。
 ・経常費用約5.2億円の55.9%を負担金・補助金・交付金等が、18.3%を物件費が占めています。負担金・補助金・交付金等の経費は、主に新型コロナウイルス感染症に係る事業者支援によるもので、他には、軽費老人ホームに対する事務費補助(64,835千円)や、府の支出金を利用した介護サービス事業所の整備費用等への補助金(41,151千円)が含まれます。物件費は、主に吹田市介護老人保健施設の連絡橋撤去に係る工事請負費によるものです。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

事業の成果指標である介護資格取得支援事業の利用者数は、過去3年間で増加傾向にあります。
 地域密着型サービスの整備については、府支出金を財源とする補助制度を活用して整備を促進していますが、介護人材不足などの理由で目標整備数に達していません。
 第8期吹田健やか年輪プラン(吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)で重点取組と定めた介護人材確保策については、数値目標による達成状況の把握が難しいですが、介護保険制度の持続可能な運営のための重要な課題と認識しており、介護人材の質の向上と確保・定着の促進に継続して取り組みます。
 また、介護保険施設等については、今後も既存施設の老朽化に伴う維持補修費の増加が見込まれます。厳しい財政状況の中、財源確保が困難となるものと想定され、効率的・効果的に維持補修を行っていくことが必要と考えます。
 吹田市介護老人保健施設は平成4年(1992年)に建設後、29年が経過し、老朽化が進んでいます。大規模な改修工事のみならず、施設の附帯設備、また備品に関しても経年劣化が進んでおり、計画的な修繕及び備品更新計画を立て、予算の確保を行う必要があります。デイサービスセンターやグループホーム等の市保有の施設全体も老朽化が進み、限りある財政状況の中では、維持補修等に関する経費を平準化し、計画的な予算執行を行う必要があります。